

③【子どもの人権】

記号	タイトル	時間	製作年	概要
子-1	子ども虐待（第1巻） 「子ども虐待を理解するために」	30分	H13	「子ども虐待」とはどのようなものか、また子どもを虐待から守るためにはどのように対応したらよいかを解説します。 □子ども虐待の定義 □子ども虐待のタイプ（身体虐待・性的虐待・ネグレクト・心理的虐待） □子ども虐待の実態 □子ども虐待への対応
子-2	人権ってなあに ⑥（子ども篇） 「いきいき生きる」 ～子どもの権利とエンパワメント～	35分	H13	川崎市では、子どもたちが参加して「子どもの権利条約」が作られ、今も条例を活かす活動を続けている。「自分たちのやりたいことを自分たちで…」子どもの視点から身近な問題を考える情報誌をおこづかいやアルバイトの賃金を出し合い、自力で発行する大阪「EFC」の子どもたち。そんな子どもたちが自立に向け生き生きと活動している姿を追い、一方で虐待やいじめ、性的搾取などの問題にも触れながら、本当の意味でのエンパワメントのあり方を探る。
子-3	「STOP CHILD LABOUR」 ～日本の子どもたちは何を考えたか～ （最悪の形態の児童労働禁止 キャンペーンビデオ） 【ガイドブック有】	32分	H11	1998年6月、ILO総会が開かれているジュネーブの街に「児童労働から子どもを解放して！教育を受けたい」という子どもたちのシュプレヒコールが響きわたった。豊かな国、日本に暮らす子どもたちは、同年代で働かされる世界の子どもたちの問題をどう捉え、何を考えたのか。学校現場に取材したレポート。
子-4	「子どもの権利条約」 わたしたちの話を聞いて！	32分	H5	「子どもの権利条約」を分かりやすく、的確に視聴覚に訴えています。この条約が子どもにとっても、大人自身にとってもいかに大切かを知ることができます。
子-5	【アニメ】「負けるな！千太」 ～さよならいじめ虫～	24分	H8	今、一人ひとりが自分の中にあるいじめ虫と向き合い、どう付き合っていくかが問われている。弱い者への慈しみや命の尊さを基本に誰の心にもいじめ虫がいること、いじめという行為がいかに醜く、無益であるかを描いた作品です。
子-6	「I am a child! 働かされる子供たち」 ILO 児童労働ビデオ	55分	H10	世界中で約2億5千万人の児童が労働に従事し、そのうち約1億2千万人は、学校にも行けず働いている。世界の各地域で過酷な労働をさせられている子どもたちの状況を紹介し、子どもの人権について考えさせる作品。

記号	タイトル	時間	製作年	概要
子-7	「見上げた青い空」	34分	H19	このビデオは、巧妙かつ残酷ないじめの現実、そして、いじめる側もいじめられる側も苦しんでいるという“いじめ”の本質を直視し、一人ひとりが自分のこととして考えるきっかけになることを企画して作成されている。 この作品は、ドラマに登場した役者が、いじめ問題についてそれぞれの立場で語るパートがあり、そこに盛り込まれている問題解決のヒントをもとに、いじめについて考えてみる。
子-8	「父さんが泣いた日」 ～子どもたちのホント 親たちのホント～	30分	H14	我が子が学校で「いじめ」にあった時、いじめる側になった時、親（家族）はどうすればよいのか・・・についての
子-9	児童虐待と子どもの人権	23分	H22	この作品は、虐待を受けた経験のある子どもや、虐待を受けた子供などを保護している児童福祉施設など関係者取材し、虐待の現状とその背景を描くとともに、より良い子育ての在り方を探り、子どもの人権を守るために私たちが何をできるかを考えるための映像教材です。 児童虐待とは、子どもが幸せに生き成長する権利を奪う行為であり、子どもの人権を否定するものです。子どもの成長する権利を守ることは、保護者をはじめ社会を担っている私たち全ての大人の責務であるということを伝えていきます。
子-10	【アニメ】人権啓発ビデオ 「プレゼント」 【学習の手引 有】	15分	H16	【ストーリー】 小学4年生の綾香は、同級生の美由紀の誕生日に手作りの写真立てをプレゼントする。それは、美由紀のことを思って作ったプレゼントであったが、美由紀の気に入るものではなかった。腹をたてた美由紀は、それから綾香にいじわるを始める。そして綾香はある出来事をきっかけに、学校を休んでしまった。
子-11	子どもの居場所づくり（基本編）	27分	H20	子どもたちは、家庭や学校だけでなく、地域の人たちとのかかわりの中で、人間に対する信頼感と愛着が形成されます。このことが自尊感情の形成にもかかわってくるのです。そこで、人間に対する地域の教育力を活用し、学校の空き教室や校庭、地域の施設などに、安全で安心して活動できる子どもの居場所づくりが行われています。
子-12	子どもの居場所づくり（事例編）	25分	H20	
子-13	子どもの居場所づくり（マニュアル編）	30分	H20	

記号	タイトル	時間	製作年	概要
子-14	ひとみ輝くとき 【解説書 有】	35分	H20	本ビデオは、子どもの世界で起こっている、いじめや虐待の問題を大人が自分のこととして考え、子どもを家庭・学校・地域社会が協力し合って支えていく社会の形成が出来ることを願って作られたものです。また、子どもたちがこのビデオを観て、(いじめられる人)(いじめる人)(傍観者)(見て見ぬふりをする人)という「いじめの構造」を知った時、自分がどの位置にいるのかを判断し、みんなで考え話し合いが出来るような構成になっています。
子-15	ともだち みつけた	16分	H23	自我が目覚める幼児期から、子どもたちは人との関係性を学び始めます。自己主張だけでは友だちになれません。友だちになるためには、相手の気持ちを思いやる気持ちが大切です。この作品では、第一話は、相手を思いやる心、第二話では、失敗を恐れず勇気を持ってチャレンジする心と、それを見守る友情がテーマです。人形アニメと、実写(現実の風景)との合成という珍しい手法で制作しています。
子-16	やさしいオオカミ	15分	H16	牙を見せて吠えたことがなく、臆病で喧嘩一つできないオオカミ(通称キバナシ)は、友だちもなく、森のみんなから馬鹿にされていた。キバナシは、「強くなりたい」「自分はダメなオオカミだ」と落ち込んでいると、満月から、「力が強いことが、良いことではない。やさしい心は、弱いものを守り、自分を守ることができる。」と勇気づけられる。自分に自信を持ったキバナシは、ウサギの兄妹を狙っていたタカに勇敢に立ち向かい、助ける。優しさで本当の強さを持つキバナシは、ウサギの兄妹はじめ森の動物たちの人気者となった。
子-17	よっちゃんの不思議なクレヨン	22分	H8	よっちゃんは、おばあさんから不思議なクレヨンをもらう。そのクレヨンで描くと実物になることを知ったよっちゃんは、自分がほしいものを描くが、クレヨンの色がなくなり何も描けなくなる。悲しくなり残った茶色をむやみに使い、森の木々が濁流につぶされる。残った黒と白を使って描いたものから花が咲く。この不思議なクレヨンが、いろいろな「心」を教えてください。「やさしい心」「みんなの為に奉仕する心」「ごめんねという反省の心」「自分だけの間違った欲張りな心」「ありがとうという感謝の心」
子-18	世界の果ての通学路	77分 + 16分	H27	世界には、学校に行くために想像を絶する道のりを、通っている子どもたちがいます。フランス発、地球を通学路という観点から捉えた驚きと感動のドキュメンタリーです。どうして彼らはそんなに苦労してまで学校に行くのだろう。さまざまな大陸、違う言語、宗教、生活環境の中で暮らす4人の子どもたちはまっすぐな瞳で同じ思いを語ります。-「夢をかなえたいから・・・」-